

# 1. 感染症速報 (壱岐地区)

令和8年2月16日作成

2026年	第6週	2月2日	～	2月8日	作成:長崎県壱岐保健所 企画保健課				
疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り
インフルエンザ	☒	RSウイルス 感染症	☺	咽頭結膜熱	☺	A群溶血性 レサ球菌咽頭炎	☺	急性呼吸器 感染症(ARI)	☺
警報:開始30 終息10	55.67	警報:開始 - 終息 -	0.00	警報:開始3 終息1	1.00	警報:開始8 終息4	2.00	警報:開始 - 終息 -	62.67
感染性胃腸炎	☺	水痘	☺	手足口病	☺	伝染性紅斑 (リンゴ病)	☺		
警報:開始20 終息12	3.50	警報:開始2 終息1	0.00	警報:開始5 終息2	0.00	警報:開始2 終息1	0.00		
突発性発しん	☺	ヘルパンギーナ	☺	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	☺	新型コロナウイル ス感染症	☺		
警報:開始 - 終息 -	0.00	警報:開始6 終息2	0.00	警報:開始6 終息2	0.00	警報:開始 - 終息 -	0.67		
	発生報告 なし		少数の発生あり		流行に注意 【注意報レベル】		流行中 【警報レベル】		

※警報レベル基準値は表示のとおり(-は設定なし)。注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

※定点数3:インフルエンザ  
新型コロナウイルス感染症  
急性呼吸器感染症(ARI)  
※定点数2:上記以外の疾患  
※急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなども含まれ、報告数は重複します。

## 2. トピックス

### ★インフルエンザが警報レベルで流行しています！

壱岐地区では、2026年第5週の定点当たり報告数が注意報レベル開始基準値「10.0」を超える「27.00」になっていましたが、第6週においては、警報レベル開始基準値「30.0」を大きく超える「55.67」になっています。また、1月下旬からはB型の患者が殆どとなっています。

より一層、手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

長崎県内においては、第6週の定点当たり報告数は「54.69」と4週続けて増加し、警報レベルの報告数が12週間継続しています。地区別にみると、全ての地区で前週より増加し、10保健所のうち8保健所で警報レベル、2保健所で注意報レベルの報告数となっています。年代別では、10歳未満(48%)、10代(42%)が多く、学校等の臨時休業も前週より増加しました。

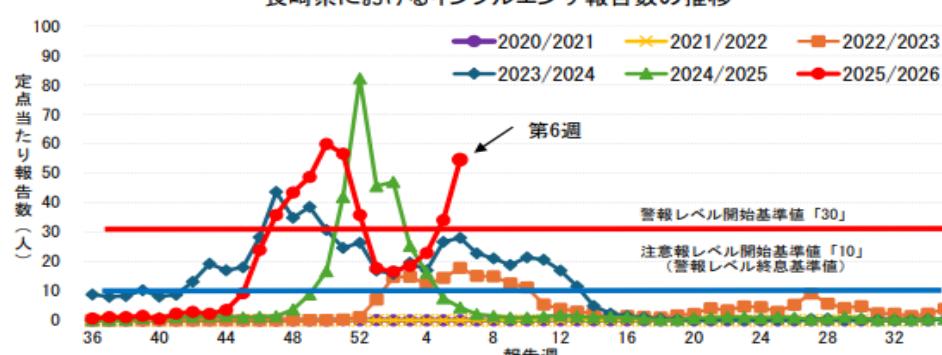
また、12月はインフルエンザA型が中心でしたが、年明け以降インフルエンザB型の患者の増加がみられています。

◎長崎県感染症情報センターホームページ「インフルエンザ」もご覧ください。

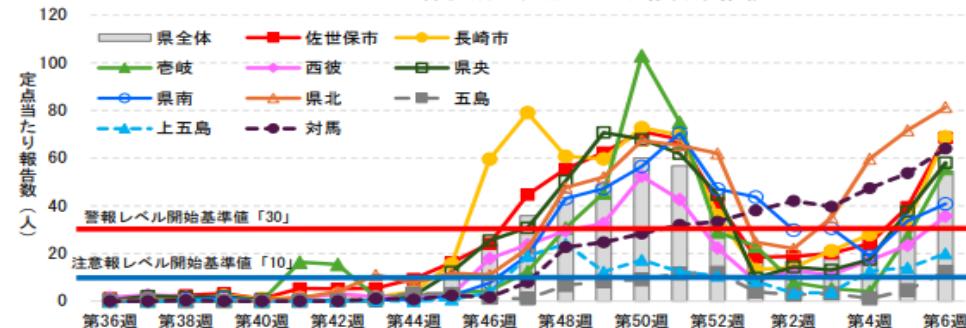
◎2025/2026シーズンのインフルエンザ臨時休業措置等

(参考)厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

長崎県におけるインフルエンザ報告数の推移



インフルエンザの保健所別定点当たり報告数推移



インフルエンザの年代別患者報告数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	1324	1162	43	104	93	30	17	9	2
報告割合(%)	47.6	41.7	1.5	3.7	3.3	1.1	0.6	0.3	0.1

## ★急性呼吸器感染症（ARI）に注意しましょう

壱岐地区では、2026年第6週の定点当たり報告数が「62.67」で、4週続けて増加しています。

また、県内でも、第6週の報告数が「115.24」と3週続けて増加しています。

急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection:ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎）または下気道炎（気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症などが含まれます。法律の改正により、令和7年4月7日からARIが5類感染症に位置づけられ、県内では51医療機関（ARI定点）から、1週間（月～日曜）にARIと診断された患者数が週に1回報告されています。

ARIに含まれるインフルエンザなどの感染症は、冬期に患者数が増加する傾向にあります。予防には、手洗いやマスク着用を含む咳エチケットなどの基本的な感染対策が有効です。ARIの中には、高齢の方や基礎疾患をお持ちの方が感染すると重症化するものもあります。場面に応じた対策を心がけましょう。

[\(参考\)厚生労働省「令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症\(ARI\)総合対策」](#)

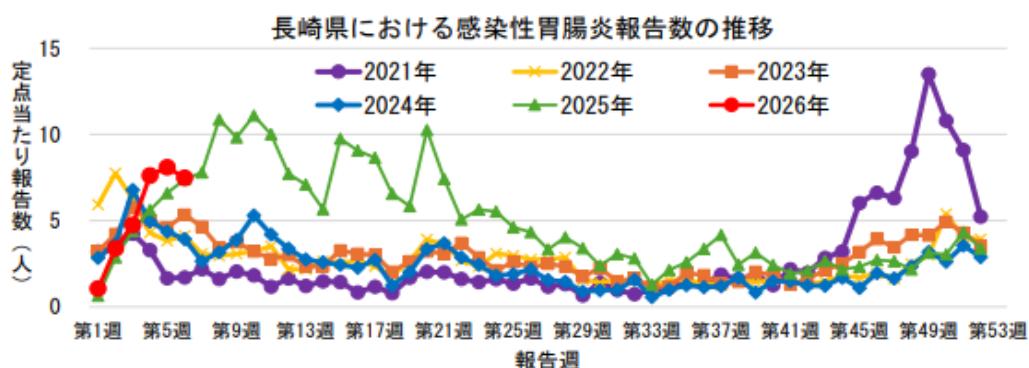
## ★感染性胃腸炎を予防しましょう

感染性胃腸炎は、12月以降に患者が増加する傾向にあります。本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因是ノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。

例年冬期に患者数が増加するのがノロウイルスによる胃腸炎です。ノロウイルスの潜伏期間は1～2日で症状の持続期間は数時間～数日です。症状は他の胃腸炎ウイルスと同様に嘔気、嘔吐、下痢が主で、腹痛や発熱を認める場合もあります。乳幼児から成人に至るあらゆる年齢に感染します。

また、ノロウイルスは食中毒の原因としても検出されるウイルスです。ノロウイルスに感染した患者の手指から食品を介して感染します。予防には、手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、積極的な感染防止に努めましょう。

◎次ページのノロウイルスに関するチラシ等もご覧ください。



冬は特にご注意！

# ノロウイルス

による

## 食中毒

食中毒は夏だけではありません。

ウイルスによる食中毒が**冬に多発**しています !!!

データでみると

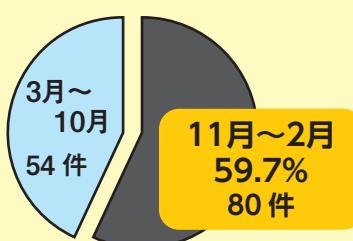
ノロウイルスによる**食中毒**は、

◆患者数で第1位



原因別の食中毒患者数（年間）

◆冬期に多い



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数（年間）

◆大規模な食中毒になりやすい

ノロウイルス 36.7人

その他 8.4人

食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（令和2～6年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

### ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の

#### 健康管理

- 普段から感染しないように食べ物のや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取り扱う作業をしない。
- 毎日作業開始前に調理従事者の健康状態を確認し、責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの

#### 手洗い

- 洗うタイミングは、
  - トイレに行ったあと
  - 調理施設に入る前
  - 料理の盛付けの前
  - 次の調理作業に入る前
  - 手袋を着用する前
- 汚れの残りやすいところをていねいに
  - 指先、指の間、爪の間
  - 親指の周り
  - 手首、手の甲

調理器具の

#### 消毒

- 洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

ノロウイルスQ&A

検索



# ノロウイルスの感染を広げないために

## 食器・環境・リネン類などの消毒

## 消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器などは、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
- 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにのみ洗いし、十分すすぎます。
- 85°Cで1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
- 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

## おう吐物などの処理

## 処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
- 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
- ペーパータオルなど（市販される凝固剤等を使用することも可能）で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
- 拭き取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1,000ppmの塩素消毒液に浸します。
- しぶきなどを吸い込まないようにします。
- 終わったら、ていねいに手を洗います。

## 塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

\*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。



	食器、カーテンなどの消毒や拭き取り		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す)	
製品の濃度	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L



- ▶ 製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶ 次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶ おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶ 消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

## ノロウイルスによる感染について

### 感染経路

### 症状

#### <食品からの感染>

- 感染した人が調理などをして汚染された食品
- ウィルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など

#### <人からの感染>

- 患者のふん便やおう吐物からの二次感染
- 家庭や施設内などの飛沫などによる感染

#### <潜伏時間>

- 感染から発症まで24~48時間

#### <主な症状>

- 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1~2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。
- 乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

できていますか？

# 衛生的な手洗い



2度洗いが効果的です！

2~9までの手順をくり返し2度洗いで菌やウイルスを洗い流しましょう。